

## 間人分校学校紹介

### プレゼンテーション 高橋 涼 蛭子郁弥

京都府立網野高等学校間人分校は、ユニークな学校です。京丹後市では、唯一の定時制高校であり、4年間をかけて、ゆっくり、じっくり学ぶシステムになっています。全校生徒は74名で、少人数であるため、一人一人とふれ合う時間がたくさんあり、名前もすぐに覚えられ、みんな、仲が良いのが特徴です。

学校目標として、

- 1 生徒一人一人を大切にされた教育活動の展開により、保護者・地域に信頼される学校づくりをめざす。
- 2 基礎学力の充実と特別活動や部活動等の活性化を中心とした教育活動の推進により、生徒一人一人が誇りと自信を抱ける、明るく活気のある学校づくりを推進する。
- 3 生徒一人一人が達成感や成就感を味わえるような取組を推進する。

の3点を掲げており、私たち生徒は、この目標のもと、毎日、学業に励んでいます。

学習においては、全日制普通科と同じ教科・科目を、時間をかけて、しっかりと習得します。1年から4年までのすべての学年に、商業科目を取り入れており、英検、漢検に加えて、ワープロ実務、情報処理などの資格取得を奨励しています。

部活動には、陸上競技、卓球、バドミントン、ソフトテニス、軟式野球、レスリング同好会、ボランティア同好会があります。特に、陸上競技、ソフトテニスの2つは、全国大会に連続出場しています。毎年、9月に開催される定時制通信制両丹高等学校総合体育大会には、全校生徒が参加しており、ほとんどの種目で優勝もしくは準優勝の成績を収めています。

毎月、さまざまな学校行事がありますが、ここでは、茶道体験、百人一首大会、浜清掃ボランティア・野外クッキングの紹介をします。

茶道体験では、網野町で茶道教室をしておられる先生に来ていただきます。なかなか厳しい先生で、叱られることもありましたが、茶道を楽しく学ぶことができました。

百人一首大会は、新年の恒例行事となっており、1年生から4年生まで、全校生徒がライバル心を燃やして、札を取り合います。

6月に実施した浜清掃ボランティアでは、口では「面倒くさい」と言いながら、みんな、まじめにゴミを拾っていました。なぜかというと、その後が野外クッキングだからです。ゴミ拾いが終わった途端、みんな走って、箸と紙皿を取りに行き、焼き肉を味わっていました。

定時制通信制の高校には、生徒生活体験発表大会という大きな催しがあります。毎年、



9月に京都府大会があり、そこで、最優秀となった生徒は、11月の全国大会に出場します。平成22年度・23年度と連続して、間人分校の先輩が、全国大会に出場しており、文部科学大臣賞、文部科学省初等中等教育局長賞を獲得しています。今年度から、間人分校では、4年生による校内予選を始めました。国語表現の時間を使って、4年生全員が作文を書き、文書審査の結果、優秀であった4名が代表をかけて発表を行いました。この取組は、それぞれが自己理解を深め、夢と自信をもって未来へと踏み出すきっかけとなりました。

このようにして、私たちは多くのことを学び、自立した社会人への階段を上っています。皆様も興味を持っていただけましたら、是非、私たちの学校へ足を運んでいただきたいと思います。

以上で、学校紹介を終了いたします。御清聴ありがとうございました。